



令和4年度「ちっちゃい探検隊①」実施報告書

I 事業の概要

1. 期 日 令和4年6月25日(土) ※日帰り
2. ねらい
 - ・親元を離れ、大自然の中で仲間と生活することを通して、自分で行動する自信をつける。
 - ・班の中で自分の意見を言えたり、友だちの意見を聞いたりすることができる。
 - ・友だちと力を合わせることを楽しいと感じることができる。
3. 参加者数 小学校1～3年生 23名
大学生ボランティア 17名
4. 日 程

9:30	受付開始
10:00	出会いのつどい
10:20	船上流忍者遊戯(レクリエーション)
11:00	船上流忍者道具づくり(クラフト)
12:00	昼食
13:00	船上流忍者修行(オリエンテーリング)
15:45	別れのつどい
16:00	解散



II 実施状況

今年度初めてのちっちゃい探検隊は、日帰りでの実施となった。緊張した面持ちの子どもたちを学生ボランティアが優しく迎え、23名の子どもたちが集合した。

出会いのつどい後、組ごとの色のタオルを首に巻くと、少し忍者らしくなり、子どもたちがワクワクする様子を感じられた。船上流忍者遊戯(レクリエーション)では、最初は緊張した雰囲気だったが、子ども同士の関わり合いや、班付きの大学生の声掛けて、徐々に緊張が解けていく様子を感じられた。くせ者探しの活動では、班で力を合わせて活動することができ、どの班もミッションをクリアすることができた。

船上流忍者道具づくり(クラフト)では、折り紙で手裏剣づくりを行った。半数以上の学生ボランティアは手裏剣の折り方を事前研修してい

たこともあり、学生ボランティアが子どもたちに寄り添うことで、おおむねスムーズに活動ができた。出来上がった手裏剣に満足そうな笑顔がたくさん見られた。

昼食後の船上流忍者修行(オリエンテーリング)では、班ごとに5か所でのミッションにチャレンジした。学生ボランティアのフォローもあり、どの班も協力してミッションをクリアすることができた。ミッションクリアに成功して特忍レベルの金色のシールがもらえると、達成感のある満足そうな表情がたくさん見られた。

別れのついでには、修行終了認定の灯(キャンドルファイヤー)の儀式を行った。師範(所長)から、それぞれの班の代表1名が修行終了認定の灯をいただき、厳かな忍者修行らしい儀式となった。最後に代表の子どもとボランティアが感想を発表し、名残惜しい雰囲気となった。学生ボランティア、職員が、保護者・子どもたちを見送り、すべての日程を無事に終えることができた。



Ⅲ 総括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・ともだちがいっぱいできたし、おにいさん、おねえさんとなかよくなれたので、うれしかったです。
- ・マヨネーさいとか、かけざるとかを、はんでいろいろなところをさがして、とてもたのしかったです。またすずぬけのじゅつをやりたいです。
- ・ぜんぶがたのしかったです。きんいろのシールがいっぱいもらえてうれしかったです。
- ・しゅりけんづくりもたのしかったですし、いろいろなあそびができてうれしかったです。また、きたいです。

2. 成果

- ・学生が一人ひとりの児童と丁寧に関わっていて、とても良かった。はじめは集団になじみにくそうにしていた児童も徐々に慣れてきて、とても良い表情で活動していた。
- ・忍者風鈴、くせ者探し、認定の儀など、忍者の世界観を大事にした雰囲気づくりがとてもよかった。子どもたちを忍者の世界に引き込むことができた。

2. 課題

- ・コロナの影響なのか応募者数が少なかった。よりタイムリーな広報ができれば、さらに応募者数が増えると思われる。
- ・当日、学生ボランティアとの事前確認や事後の振り返りの時間をしっかり確保することで、学生にとってもより有意義な活動としていく必要がある。